

職員の負担にならない被災地対応を

田山中央執行委員



協議会 今年も東日本大震災の被災局支援は庁を挙げて体制をとってもらいたい。また、応援のため職員派遣にあたっては、その職員の希望を第一にしてもらいたい。

協議会 仙台局窓口から情報提供を受けたが、なぜ12市町村なのか何一つ回答がない。2カ月で十分対応できるとの認識なのか。

当局 期限延長解除を検討中。

①震災は23年3月11日であり、22年度分から延長され、24年度まで3年間申告されていない。課税は免除されず納税者も当局も大変になる。

②地元の市町村から話を聞いたが、被災者の生活も一応落ち着いてきた。地元の市町村からも解除の要望がある。

③12市町村の状況を見ると自主的に申告している人も多くいる。

納税者も地域として申告でき、局署、挙署一体体制が取れる確定申告期にした。

協議会 12市町村には震災時と状況が変わらない地域もある。財産、事業用資産も使えるかわからない。一斉に解除する根拠は何か、納税者から理解を得られるのか。

当局 我々も市町村と協議してきた。市民を分断

しないであれとの意見から一斉に解除する。申告できない納税者には国税通則法11条により個別に対応する。

協議会 仙台局窓口から情報提供を受けたが、なぜ12市町村なのか何一つ回答がない。2カ月で十分対応できるとの認識なのか。

当局 期限延長解除を検討中。

2カ月前に告示することになっていたので今回知らせた。

協議会 自主的に申告している割合はどの程度なのか。分母が広がるので。

当局 21年度と24年度を比較して見ると、被災者への対応は、東北地連も本部も震災対応での被災者のことを考えていない。

調査件数の見直しを

協議会 今の計画件数では処理できない。

計画の見直しを指示してほしい。

当局 事務計画に無理がないよう、弾力的にやってもいい。事務量を適切に把握し各局の実情に応じ調査1件当たりの目安を示した。

協議会 進捗状況は聞いていないのか。

主務課からは上期は60%と示したが、10月までに年間計画の25〜30%しか出ていない。

11月に予約を入れ着手をするよう言われるが、10月までの検討が出来ていないため、仕掛ばかりがたまっている。

当局 まだ途中であり把握していない。

協議会 年内に終わらない状況で年越しは現実。11月までに1件も上げられない職員もいる。

手続が煩雑で1件1件が長期化し超勤が増えている。

とを考え、反対してこなかった。今回は相当な準備をしてきたとは思えない。当局は福島局に加え、相馬・いわき・郡山署で閉庁日対応をやるが、意見を聞くという手続を飛ばしている。仙台局窓口で1時間30分粘ったが回答しない。これまでではきちんと対応してきたではないか。

協議会 これまで組合は被災地の閉庁日対応に、真摯に対応してきた。今回は唐突に伝達された。職員を信用しないような伝達はやめてもらいたい。

当局 検討段階でありペーパーにはできなかった。職員・組合には前広に伝えた。信用していないわけではない。

協議会 震災時を振り返れば、東北地連も本部も震災対応での被災者のことを考えていない。

良い数字を出すため頑張っているが、実態は危惧したことが起こっている。

当局 話は承りこれからいろんな数字が上がってくるので実態を把握する。超勤になっているかは私なりに検討し、複合的に見ていく。

ちゃんとやっていたらはずみは出てくる。

協議会 ひずみを隠そうとするのが現場だ。

当局 私なりに実態を把握し、見直しが必要ならする。

レジスター導入で労働強化にするな

と納税証明が重なること待たせる。特に確定期は待たされる納税者はイライラするし、職員もあせつて間違えやすい。徴収システムのこともあり、今後のトラブルの対応が、機械・KSK各々で必要。トラブル時、手作業で対応することを含め庁として考えておくべきだ。

当局 システムダウン、停電の問題は考えていかなければならない。動かなくなつた場合の対応に備えておく必要がある。

協議会 当面は台数の確保や様式改善を要求する。統括決裁もあり15分で発行することが出来ない場合もある。

当局 テイクノートする。

管理運営部門に増員。大きな負担となつてくる。各事務系統の内部事務を経験させたい。また、相談する相手がいらないため退職する職員もいる。覚えたことは鍵番のやり方だけとの声もある。

当局 特命結果を見ていないが、納税者対応や各種書類を覚えられれるとの声もある。

協議会 レジスターはスムーズな面と引つかかる面の両面ある。整理番号のないものはベタ打ち。レジの棚は一つしかなく台数は必要だ。現金領収書を目的に行っているのを、相談事務を切り離すことは考えていない。

③署全体の事務の流れが理解できるので専門官採用者を配置すること。特定の職員に負担とならないよう、全員で指導できるよう配慮している。

④コスト削減、効率化からKSKと連絡できる各署の件数を勘案し台数を決めた。1台の場合は他の端末から入力もできるようにした。

協議会 「長官特命」だが問題は上がってこないのか。全体で指導するとい

うが1年では理解できないという声は、双方から上がっている。各事務系統の内部事務を経験させたい。また、相談する相手がいらないため退職する職員もいる。覚えたことは鍵番のやり方だけとの声もある。

当局 特命結果を見ていないが、納税者対応や各種書類を覚えられれるとの声もある。

協議会 レジスターはスムーズな面と引つかかる面の両面ある。整理番号のないものはベタ打ち。レジの棚は一つしかなく台数は必要だ。現金領収書を目的に行っているのを、相談事務を切り離すことは考えていない。

③署全体の事務の流れが理解できるので専門官採用者を配置すること。特定の職員に負担とならないよう、全員で指導できるよう配慮している。

④コスト削減、効率化からKSKと連絡できる各署の件数を勘案し台数を決めた。1台の場合は他の端末から入力もできるようにした。

協議会 「長官特命」だが問題は上がってこないのか。全体で指導するとい

正常な労使関係確立について

宮城副代表委員



失が非常に大きい。

6級ポスト昇任 宮城 信昭 沖繩署38期 松田 直 那覇署39期

5級昇格 嶺井 諭 39期

当局 人事にあたっては、従来から公務の要請に基づき、適材適所で行政効率を最大限に発揮するよう、職員個々の適正、能力、勤務成績等を総合判断して適正に行っている。職員団体への加入の有無や所属団体の如何によつて差別することはない。また、特定の職員団体を敵視することはない。

と納税証明が重なること待たせる。特に確定期は待たされる納税者はイライラするし、職員もあせつて間違えやすい。徴収システムのこともあり、今後のトラブルの対応が、機械・KSK各々で必要。トラブル時、手作業で対応することを含め庁として考えておくべきだ。

当局 システムダウン、停電の問題は考えていかなければならない。動かなくなつた場合の対応に備えておく必要がある。

協議会 当面は台数の確保や様式改善を要求する。統括決裁もあり15分で発行することが出来ない場合もある。

当局 テイクノートする。

終わらぬ決議

【東京地連】

12月を迎え、例年ならそろそろ省略事務の準備に入る職員も出てくる時期ですが、今年は様相が異なります。11月初頭には「まだ一件もあげられていない」「着手が少ないとハツパをかけられている」などの声が各署から聞こえています。

通則法改正に対応するとした、決議の新たな書式への不慣れ、質問応答記録書や争点整理表等の作成書類の増加、証拠書類の収集の「充実」、仮決議作成による調査期間の長期化など、一件当たりの調査日数の大幅な増加がその原因です。

これまでの調査とは全く「異質」の仕事を求められているにもかかわらず、昨事務年度とほとんど変わらない一件当たりの日数を基に調査件数を策定した、当局の計画に大きな誤りがあるのではないのでしょうか。

とはやはり、これでは抜本的な改善策とはほど遠いということだ。外部力ウンセラの熱意も理解できるし資質的にもよく勉強されていることは理解できた。しかし「なにか、生の声は出しにくい」と感じたのが率直な感想だ。

常日頃、当局は「2次会はいくか」「外部との接触は気を付けろ」「24時間公務員の自覚がハラハラしたり……」

▼他の方と比べ、仕事をこなしていないので来年は更新してもらえませんかという声も聞かれます。

▼予算の関係もあると思いますが出勤日数を増やしていただきたいです。



詰将棋

〈解答〉

- ▲2二金△同玉▲3一銀△同玉▲3二銀△2二玉▲2三歩△1二玉▲2一銀不成△同玉▲3三桂△1二玉▲3二竜まで13手詰。

〈解説〉

- ▲2二金と捨てて▲3一銀が好手順です。7手目▲2三歩で△1二玉と追い、次の▲2一銀不成が決め手で、▲3三桂から▲3二竜でピッタリ。

リンク費用は膨大になるのだから、その検証はしっかりするんだろつな。

非常勤アンケートに寄せられた一言(抜粋)

【東海地連】

▼不要日の日数が多く、有給休暇がなかなか消化できない。

▼職員しかできない仕事までバイトに流して来たり、受付でのお客様への対応が上から視線で、見ているこちらがハラハラしたり……

対症療法ではなく抜本的な対策を

【近畿・兵庫支部】

局厚生課の発案で導入された「全職員に対する個別力ウンセリング」。体験して感じたこと

とややはり、これでは抜本的な改善策とはほど遠いということだ。外部力ウンセラの熱意も理解できるし資質的にもよく勉強されていることは理解できた。しかし「なにか、生の声は出しにくい」と感じたのが率直な感想だ。

常日頃、当局は「2次会はいくか」「外部との接触は気を付けろ」「24時間公務員の自覚がハラハラしたり……」

▼他の方と比べ、仕事をこなしていないので来年は更新してもらえませんかという声も聞かれます。

▼予算の関係もあると思いますが出勤日数を増やしていただきたいです。